スポーツ振興基金
独立行政法人日本スポーツ振興センター

第26回日本トライアスロン選手権

COVID-19感染拡大防止対策報告書

令和２年度スポーツ庁補助事業

初　稿　2020年11月27日
第2稿　2020年12月　9日
第3稿　2020年12月18日
最終稿 2020年12月22日

公益社団法人　日本トライアスロン連合

目次

1. 大会概要 2

2. コロナ対策 3

3. 大会期間スケジュール 8

4. 記録写真

看板等 11
お台場海浜公園 12
会場出入口の運用について 15
各エリアの感染対策報告 16
各業務の感染対策報告 23
ゴミの廃棄方法 37
その他 38

5. 総評 39

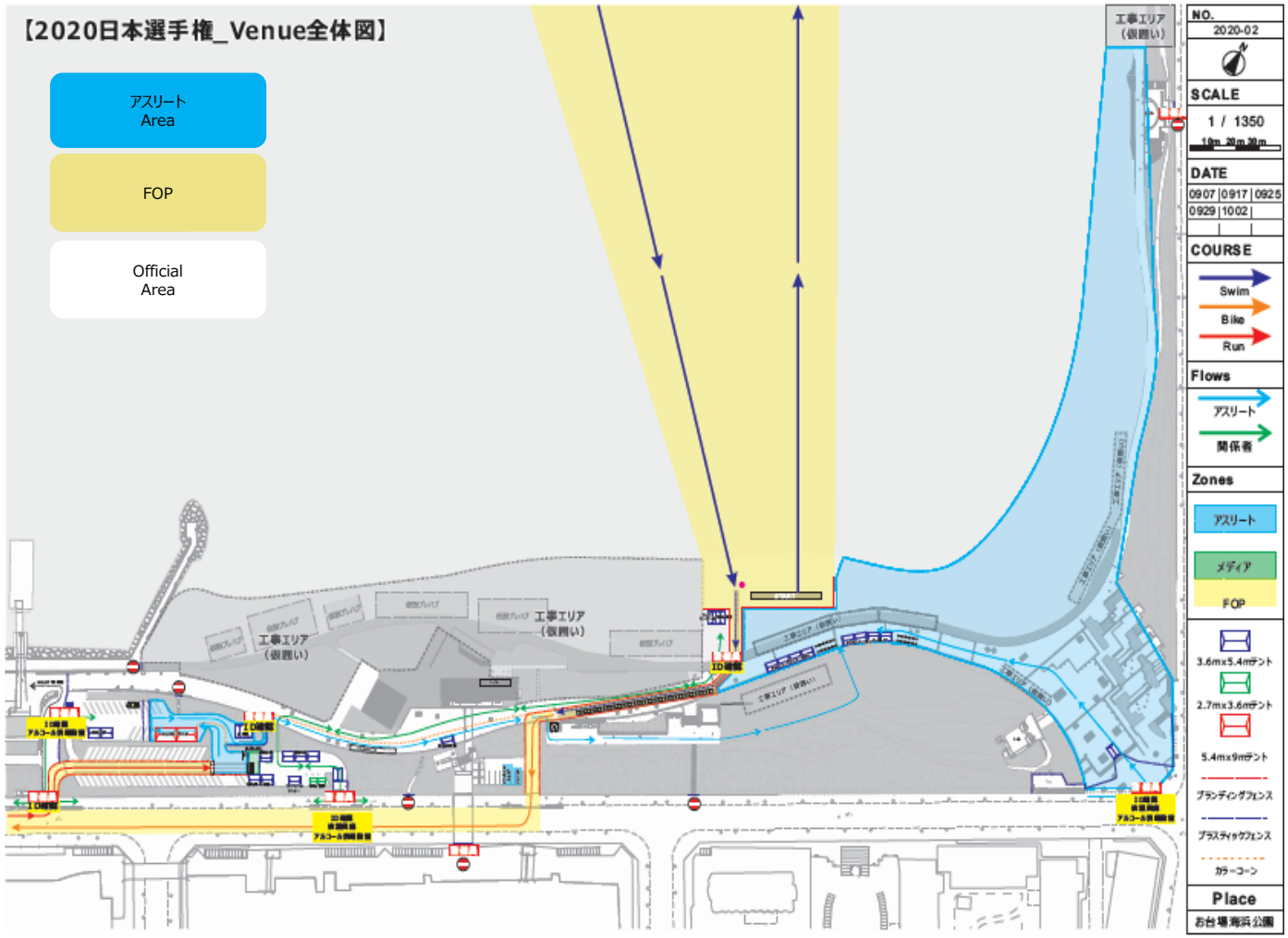
大会概要

大会名称	第26回日本トライアスロン選手権（2020/東京・台場）
開催日程	**2020年11月8日（日）** **女子8時00分スタート、男子9時30分スタート** **※大会（交通規制）終了10時51分** **※例年の競技距離の半分で実施** →お台場海浜公園及び水域、バイクランコース上の課題、住民の方や商業施設との調整の上、COVID-19感染拡大防止対策を最優先とし、競技実施時間を短縮するため競技距離を変更。
競技会場	東京都港区お台場海浜公園海域及び周辺特設会場
主催	公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）、東京新聞・東京中日スポーツ
共催	東京都
主管	日本トライアスロン選手権　実行委員会
競技主管	一般社団法人東京都トライアスロン連合（TMTU）
後援	スポーツ庁、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、東京港埠頭株式会社、株式会社東京テレポートセンター）、株式会社ゆりかもめ、株式会社東京ビッグサイト、りんかい線（東京臨海高速鉄道株式会社）、港区、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団、一般財団法人港区体育協会　＊予定含む
協力	公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）東京ブロック協議会、パレットタウン運営協議会、日本財団パラリンピックサポートセンター、大江戸温泉物語、公益財団法人日本海事科学振興財団、 アクアシティお台場、the SOHO、港区トライアスロン連合、東京慈恵会医科大学附属病院、 フジエクスプレス、公益財団法人日本ライフセービング協会
特別協賛	NTT東日本
協賛	セガサミーグループ、富士通、ローソン、アシックス、JAL、大和ハウス工業、三井住友海上火災保険、味の素、セレスポ、サンフロンティア不動産、博慈会、シマノセールス、東レ・アムテックス、JTB、日本旅行、H.I.S.、ブリヂストン、スポーツクラブNAS、HUUB、TYR、２XU、ROKA、フォトクリエイト、OAKLEY、エアウィーヴ、仙台銘板、デックス東京ビーチ、日本写真判定
助成団体	スポーツ振興基金
オフィシャルホテル	グランドニッコー東京台場
テレビ放送	2020年11月21日（土） NHK BS1 女子競技　07:50-08:40 男子競技　08:50-09:39
競技距離	25.75km（スイム1周回0.75km、バイク5周回20km、ラン2周回5km）
参加対象	男子39名、女子35名（エリート：JTU強化指定選手、JTU各ブロック選抜選手）

■ゾーニングの考え方

お台場海浜公園内の一部は、選手及び関係者のみ出入り可能とし、一般利用者の立入を制限させて頂いた。
出入りする選手および大会関係者は2週間の健康チェックを行い、「健康が保たれていること」を前提として会場内に入る運用を実施した。

ゾーニング詳細



公園内のゾーニング

■公園内を3つにエリア分け

①アスリートArea
②FOP
③Official Area

エリア	アクセス可能な条件
アスリートArea（青塗りエリア）	・PCR陰性者 ・2週間の体温・健康管理・行動記録チェック（ONE TAP もしくは紙ベースによる提出） ・COCOAアプリインストール ・当日の検温において37.5度未満
FOP（黄塗りエリア）	・2週間の体温・健康管理・行動記録チェック（ONE TAP もしくは紙ベースによる提出） ・COCOAアプリインストール ・当日の検温において37.5度未満 ・一部のTO、メディア、水上管理、メディカル
Official Area（色塗りなしの園内）	・2週間の体温・健康管理・行動記録チェック（ONE TAP もしくは紙ベースによる提出） ・COCOAアプリインストール ・当日の検温において37.5度未満

■PCR検査の考え方

PCR検査の対象者は、ブルーエリアに入る方および選手と近距離での接触が避けられない方とし、PCR未受診者との接触を回避した。

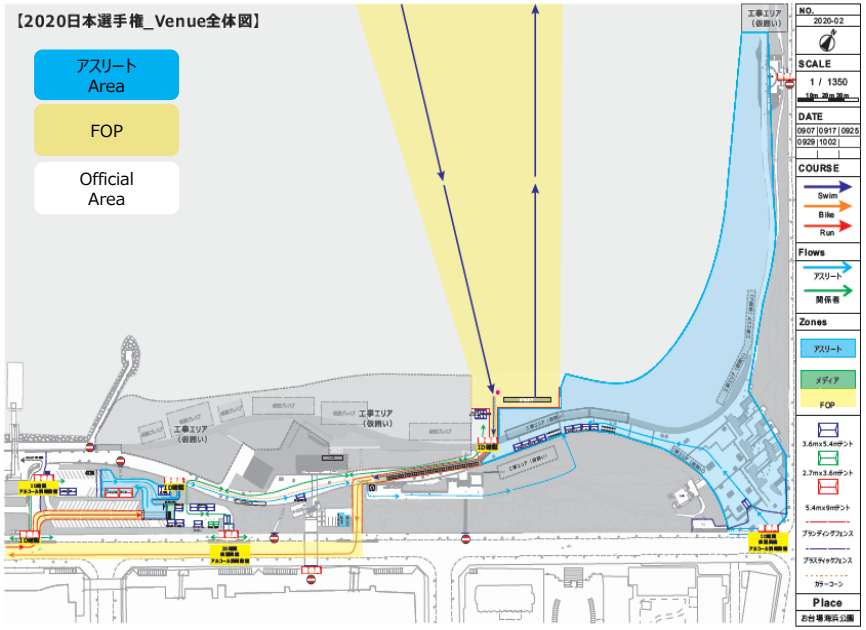
PCR検査詳細

《検査依頼先》 医療法人社団直悠会 にしたんクリニック
《検査方法》
1）検査対象者へPCR検査申込方法を案内し、PCR検査キットの申込を実施
　※10月29日(木)PCR検査申込締切(未成年者は同意書提出)
　※PCR検査結果は個人情報に当たるため提出フォームを活用
2）検査機関から郵送にてPCR検査キット(右写真)が対象者の自宅に到着
3）PCR検査キット受取後、検体採取(唾液採取)・検体返送
　※郵便ポスト投函とし、検査機関に11月5日(木)必着
4）PCR検査結果メール受領・各対象者による結果報告

※PCR検査申込忘れ/キットが届かない/送った検体がクリニックに届かない/送った検体が返送されてきた等のトラブルが発生したが、各フロー期日を多少の余裕をもって設定しており、大事に至らなかった。

PCR検査キット

図）ブルーエリア(PCR検査陰性者)



検査実施者一覧　合計144名

選手	：80名
メディカル（医師・看護師）	：8名
TO	：20名
※TD1、HR2、受付8、フィニッシュ5、救護車2,全体２	
ドーピング（シャペロン）	：8名
警備員（選手出入口）	：4名
ホストブロードキャスト	：13名
メディア対応スタッフ	：2名
主要スタッフ	：7名
Officialカメラ	：2名
＊JADAは自己対応なので対象外	

検査結果

PCR検査受診者（144名）全員、陰性

■コロナ対策共通事項の徹底(全選手・大会関係者対象)

共通事項

・「感染しない、させない」ための行動を厳守する

【具体的な行動】
・体温/健康管理/行動記録チェックシートの記入／・マスクの着用(必要に応じてフェイスシールドの着用)
・ソーシャルディスタンスの確保／・こまめな手洗い/手指の消毒を実施
・咳エチケットの励行／・緊密な距離での会話を避け、大声を出さないように注意する
・常に換気をする／・大人数での会食は避ける／・休憩や食事等は分散して取るように調整する

大会前

・PCR検査の実施
・10月26日(月)から体温/健康管理/行動記録チェックシートの記入
　※行動記録は各自で把握できるようにメモ等をとること
・COCOAのダウンロードおよび、初期設定を完了

大会期間中

・体温/健康管理/行動記録チェックシートの記入

■当日来場を控えていただく場合
1.過去2週間以内に同居家族や身近な知人に感染者がいる場合
2.大会4日前から当日までの3日間に1日でも体温37.5℃以上がある場合
3.大会4日前から当日までの3日間に下記、症状がある場合
・咳または痰がある、喉に痛みがある／・息苦しさがある／
・強いだるさを感じる／・臭覚や味覚に異常を感じるがある

■体調不良等による選手の欠場、スタッフの欠席
①選手１名、陽性者との接触のため大会参加を自粛（11/6）
②スタッフ２名、発熱で来場せず（11/8）

大会終了後

・11月22日(日)まで体温/健康管理/行動記録チェックシートの記入（任意）

■体温・健康管理・行動記録チェック(ONE TAP)の実施

「ONE TAP」とは

ONE TAP SPORTS
TOP ATHLETE PERFORMANCE

・ONE TAP SPORTS(ワンタップスポーツ)は、スポーツ選手のコンディショニングやトレーニングに必要な情報を一括して記録/管理できるシステム。
・今大会では、コロナ対策の観点から選手および、関係者全員を対象にONE TAP SPORTSを利用した体温/健康管理/行動記録を実施。

ONE TAPの運用方法

説明

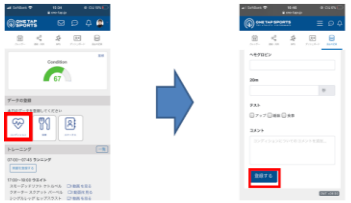
・お手持ちのスマートフォン、またはPCからアクセス可能
・各日の健康状態を忘れずに入力する
・スマートフォンおよび、PCをお持ちでない方はあらかじめ、担当者メールアドレス宛にデータを送付
　※各自忘れずに出力し、各担当のコロナ対策責任者に提出

入力方法

初回ログイン方法

1.メール内の「登録を完了させる」をクリック
2.初期パスワードを設定し、「利用開始する」をクリック
3.ログイン完了
*safariやchromeで開き直し、ホーム画面に追加すると利用しやすくなります。(p3参照)

体温等のデータの登録



1.コンディションをタップ
2.データを入力し、登録するをタップ

コメントの確認方法

1.コメントに返信があるとメールマークに通知が届きます。
2.コメントの確認/返信ができます

パスワード変更方法

1.右上のアイコンをクリック
2.アカウント設定をクリック
3.パスワード設定をクリック、新規パスワードを設定

ホーム画面に追加方法

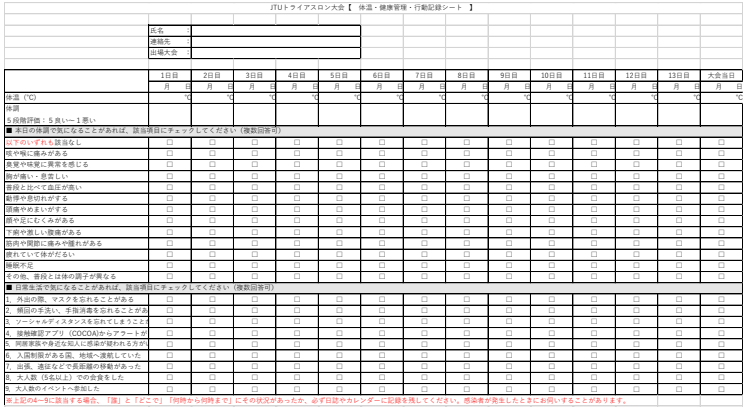
1.共有マークをクリック
2.ホーム画面に追加をクリック
3.右上、追加をクリック
4.ホーム画面に追加されます

ログインQRコード

※WEB入力ができない場合
問い合わせ窓口を設定

紙ベースにて提出の場合

対象者:消防、警察、メディア、視察等



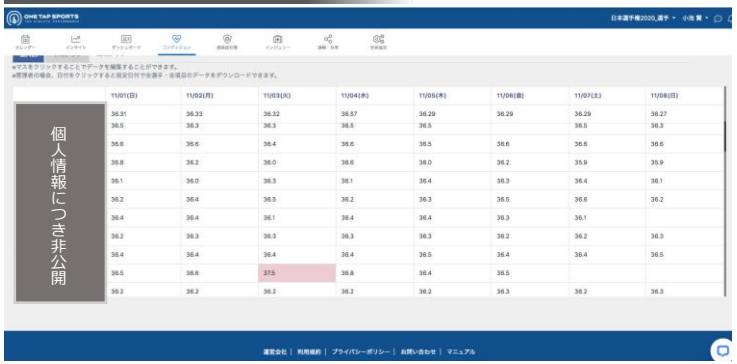
JTUトライアスロン大会【　体温・健康管理・行動記録シート　】

氏名	
所属先	
出場大会	

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	大会当日
	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
体温（℃）	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体調														
5段階評価：5 良い～1 悪い														
■ 本日の体調で気になることがあれば、該当項目にチェックしてください（複数回答可）														
以下のいずれも該当なし	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
咳や喉に痛みがある	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
発熱や味覚に異常を感じる	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
胸が痛い・息苦しい	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
普段と比べて血圧が高い	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
動悸や息切れがする	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
頭痛やめまいがする	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
腰や足にむくみがある	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
下痢や苦しい腹痛がある	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
筋肉や関節に痛みや違和がある	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
疲れていて体がだるい	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
睡眠不足	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
その他、普段とは体の調子が異なる	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
■ 日常生活で気になることがあれば、該当項目にチェックしてください（複数回答可）														
1. 外出の際、マスクを忘れることがある	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
2. 頻回の手洗い、手指消毒を忘れることがあ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
3. ソーシャルディスタンスを忘れてしまうことが	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
4. 接触確認アプリ（COCOA)からアラートが	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
6. 入国制限がある国、地域へ渡航していた	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
7. 出張、通勤などで長距離の移動があった	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
8. 大人数（5名以上）での会食をした	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
9. 大人数のイベントに参加した	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

※上記の4～9に該当する場合、「誰」と「どこで」「何時から何時まで」にその状況があったか、必ず日記やカレンダーに記録を残してください。感染者が発生したときにお伺いすることがあります。

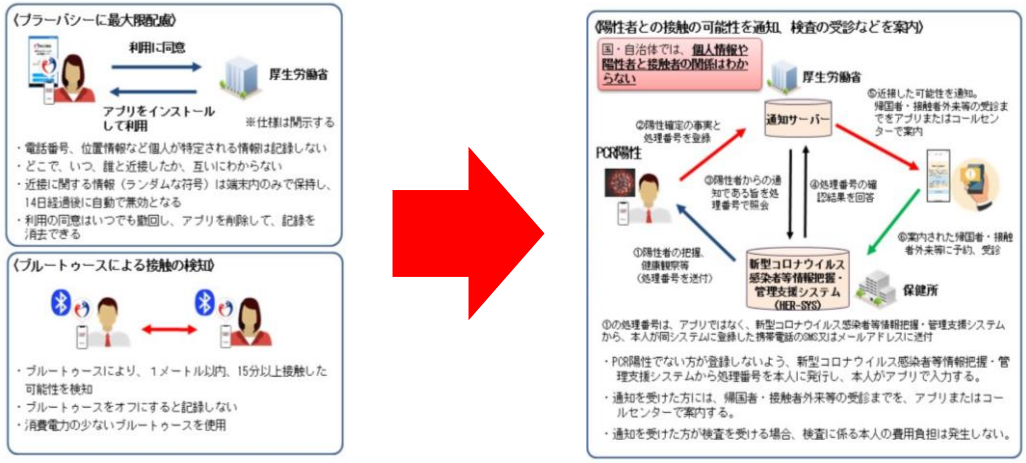
管理画面



■COCOA-新型コロナウイルス接触確認アプリのインストール

「COCOA」とは

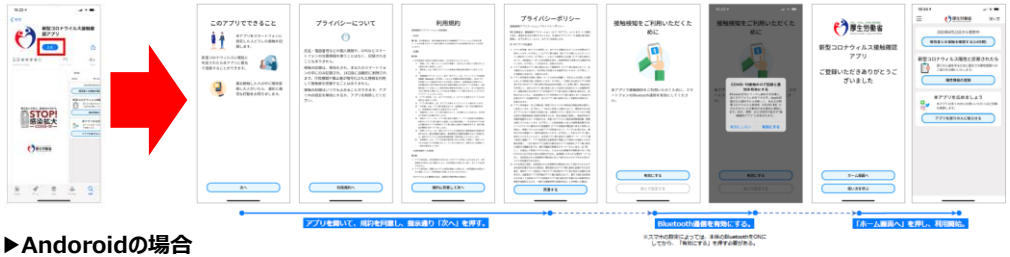
・利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができる



COCOAアプリの運用方法

・動作可能なOSバージョンはiOS13.5以上、Android6.0以上
・各規約の同意やBluetoothやPush通知の許可が求められる
※インストール後、必ず初期設定を実施

▶iPhoneの場合



▶Andoroidの場合

大会期間スケジュール　11/6(金)

TIME	大会スケジュール	お台場海浜公園	公道	その他
	11月6日（金）大会2日前			
8:00				
9:00				大会本部オープン@台場区民センター ～21:30
10:00				
11:00				
12:00	実施検討委員会@WEB			
13:00	メディアMTG＆動線確認	コースチェック		
14:00				
15:00	コロナ対策会議@WEB			記者説明会および前日記者会見準備 @台場区民センター
16:00	実行委員会会議@WEB			
17:00		テント各諸室の消毒		
18:00				
19:00				
20:00				

大会期間スケジュール　11/7(土)

TIME	大会スケジュール	お台場海浜公園	公道	その他
	11月7日（土）大会前日			
8:00				
9:00	大会実行委員会@WEB			大会本部オープン @台場区民センター ~21:30
10:00	メディカル/TO MTG			
11:00				
12:00	リハーサル メディア説明会/記者会見/ 競技説明会	サーモグラフィーのテスト運用		メディアルーム準備 @台場区民センター
13:00	WEBメディア取材説明会			
14:00	WEB記者会見			
15:00	WEB選手受付 WEB競技説明会 メディカル MTG			
16:00	リハーサル スイムスタート/フィニッシュ/セレモニー			
17:00		競技備品の消毒		
18:00	実行委員会会議 @台場区民センター	↓		
19:00				
20:00				

大会期間スケジュール　11/8(日)

TIME	大会スケジュール	お台場海浜公園	公道	その他
	11月8日（日）本番			
4:00				
5:00	会場本部オープン	入場制限開始(~12:00)		
	実施検討委員会	サーモグラフィー設置		
		会場出入口警備員配置		
6:00	レジストレーション開始	ゾーニング開始		
7:00	メディア受付スタート		交通規制開始	
8:00	女子競技		スタッフの巡回・会場アナウンスによる注意喚起	
9:00	優勝者インタビュー@フィニッシュ			大会本部オープン @台場区民センター ～21:30
	男子競技			
10:00	優勝者インタビュー@フィニッシュ		交通規制解除	スイム・T１・T２・フィニッシュエリア周りのメディア混雑状況確認
11:00		ゾーニング解除		NHK中継車内の換気状況確認
12:00	WEBインタビュー @台場区民センター	入場制限解除		
13:00	実施検討委員会 @台場区民センター			
14:00				
15:00				
16:00				

記録写真【看板等】

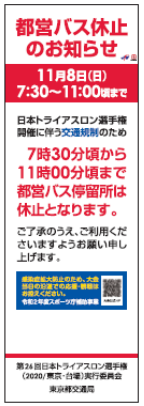
予告看板

・予告看板設置期間…10月26日(月)～11月8日(日)

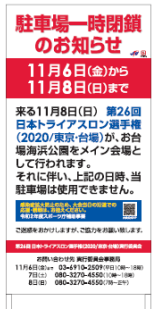
コロナ対策

・予告看板、横断幕には新型コロナウイルス感染防止のため、当日の沿道での応援・観戦自粛の文言を併せて掲載し、一般の方への事前周知を実施。

◆看板…3本(A1、A2)



【Y1】2枚
海浜公園中央駐車場
W750×H1,500＋300×D30



【Y8】4枚 ※支柱に設置
海浜公園 園内告知
W600×H1,200＋800

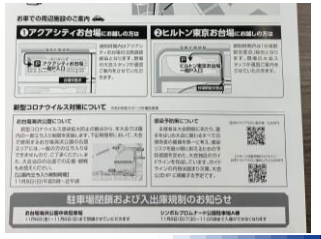
【Y8-3】1枚 ※両面
海浜公園 園内告知
W600×H1,500＋300＋GL下600×D50

誘導看板/規制チラシ等

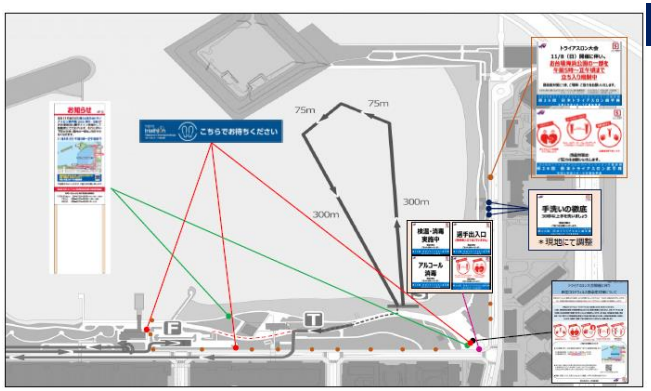
・誘導看板設置期間…11月6日(金)～11月8日(日)／・バス中吊広告設置期間…10月24日(土)～11月9日(月)
・交通規制チラシ配布期間…10月9日(金)～

コロナ対策

・新型コロナウイルス感染防止のため、大会当日の沿道での応援・観戦の自粛の文言を併せて掲載し、一般の方への事前周知を実施。



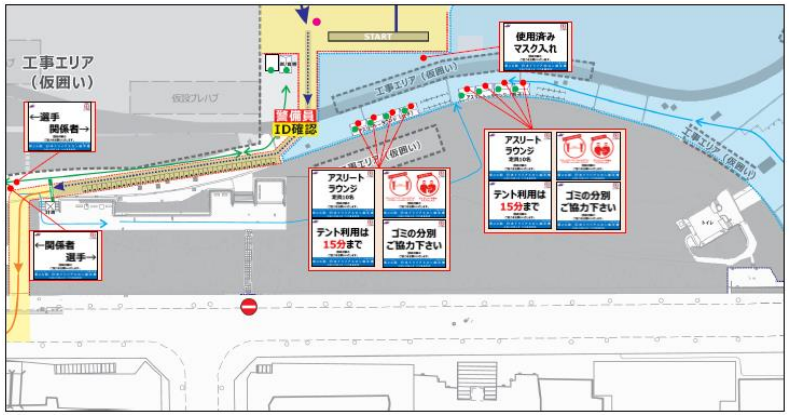
コロナ対策サイン計画①　お台場海浜公園



コロナ対策

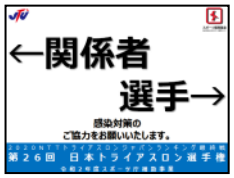
- 新型コロナウイルス感染症対策に関して一般の方への事前周知を実施。
  (会場内での入場規制、観戦の自粛等)
- お台場海浜公園内及び公園外の歩道各所に感染対策サインを貼付し、一般の方への周知を実施。
- 選手と大会関係者の出入口を分ける運用を実施。
- 選手入口、関係者入口では検温の際に足元シールを貼付しソーシャルディスタンスの確保を実施。
- 入口にアルコール消毒液を設置し手指消毒を実施。
- 選手入口および関係者入口に東京都の感染防止徹底宣言ステッカーを掲出。
- 会場内各所に感染対策サインを貼付し、選手や大会関係者にコロナ対策の注意喚起を実施。

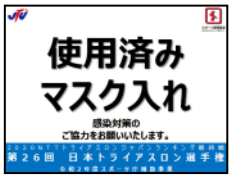
コロナ対策サイン計画②　【スイム/トランジション周り】

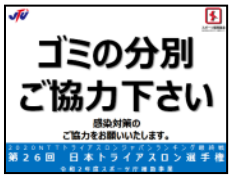


コロナ対策

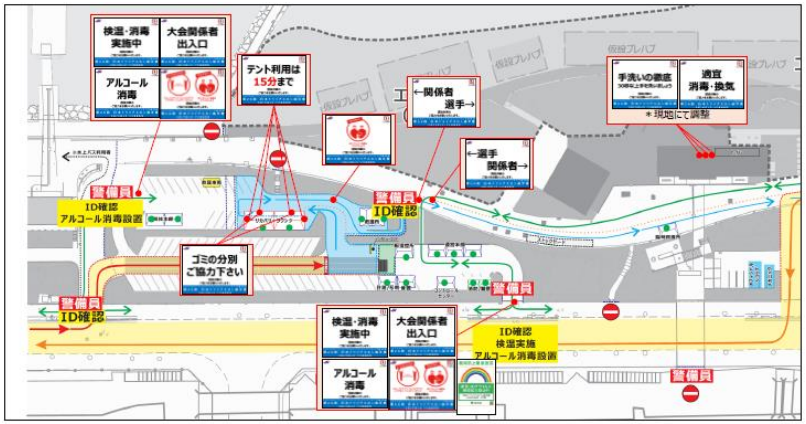
- 会場内において選手動線と関係者動線を分け、スタッフと選手の接触を回避。
- 各テント内にコロナ対策サインを貼付し、選手や大会関係者にコロナ対策の注意喚起を実施。
- 各テントにて制限人数が分かるサインを掲出。
- アスリートラウンジのテント内の利用時間を15分までとした。







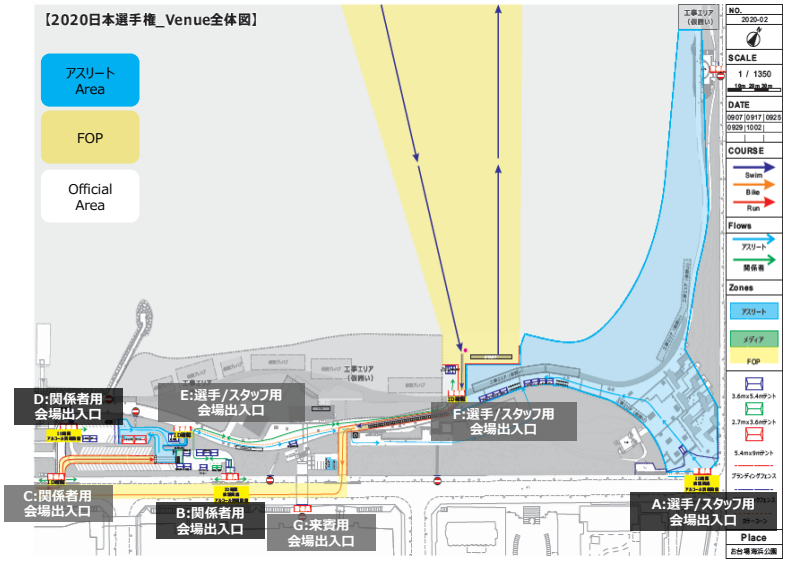
コロナ対策サイン計画③ 【フィニッシュ周り】



コロナ対策

- 会場内各所にコロナ対策サインを貼付し、選手や大会関係者にコロナ対策の注意喚起を実施。
- 大会関係者出入口には東京都の感染防止徹底宣言ステッカーを貼付。
- リカバリーラウンジのテント利用は15分までとした。
- マリンハウスの多目的トイレ内においてもコロナ対策サインを貼付し、大会関係者に対して感染対策の注意喚起を実施。
- トイレ内のドアノブや水洗トイレのレバー等の消毒を1日数回実施。
- トイレ内では換気を徹底。
- 手洗いは30秒以上を推奨。

各会場出入口の運用/検温方法



コロナ対策

・PCR検査済み（陰性）の識別(選手/TO/大会関係者ともにAD色分けにて識別)
・A(選手/スタッフ用会場出入口)、B(関係者用会場出入口)では警備員によるID確認、入場者へのアルコールの吹き付けおよび、サーモグラフィーによる検温を実施。
※体温が37.5度以上の場合、非接触型体温計で再度検温実施。
※非接触検温においても37.5度以上場合、入場お断り。
・D(関係者用出入口)では警備員によるID確認、入場者へのアルコールの吹き付けおよび、非接触体温計による検温を実施。
・A、E、F(選手/スタッフ用出入口)はPCR検査の結果が陰性者の方のみ入場可能とした。
・各出入口の警備員はマスクとフェイスシールドを着用し、検温スタッフはマスクの着用を実施。

課題・改善策

・選手入口にて、最初の1名の選手はサーモグラフィー前で立ち止まらなかったため、その後の選手は声掛けをしカメラ前で一旦立ち止まってもらった。
・選手はヘルメットをかぶって来場することが多く、体温測定ができない場合があり、カメラ前でヘルメットを上げてもらうようにした。
→検温時は額を見せ、カメラ前で立ち止まるよう、事前周知を徹底。
・サーモグラフィーは表面温度を計測するため、外気温によって表示される温度と実際の体温とで数値が異なる場合がある。
→環境にされやすい機械のため、体温の測り方については影響されないような環境整備も検討。

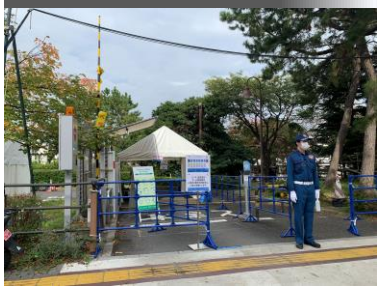
A選手/スタッフ用会場入口：検温

A選手/スタッフ用会場入口：手指消毒

B関係者用会場入口：サーモグラフィー

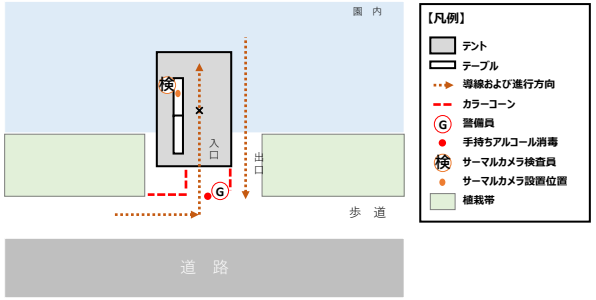
B関係者用会場入口：検温

B関係者用会場入口

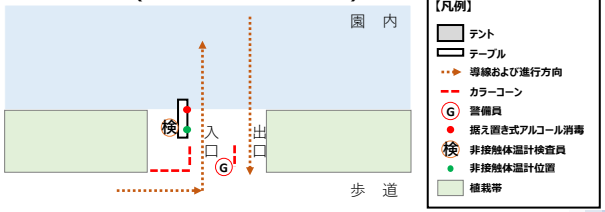


D関係者用会場入口：検温

【入場フロー(サーモグラフィー：A、B)】



【入場フロー(非接触体温計：D)】



各エリアの感染対策報告

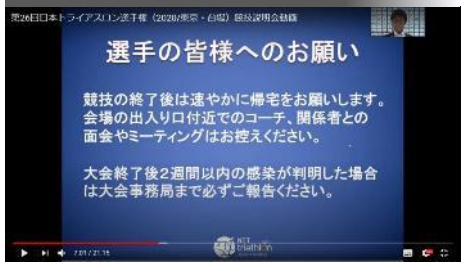
記録写真【競技説明会・レジストレーション】

選手/TO　【競技説明会： 7日(土)15時30分～16時00分、ZOOM会議にて実施／レジストレーション：8日(日)6時30分～】

競技説明会WEBキャプチャー

競技説明会WEBキャプチャー

競技説明会WEBキャプチャー

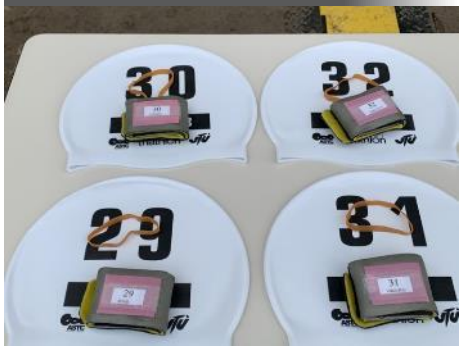


配布物を選手自身で受取

配布物管理スタッフは手袋着用

配布物管理スタッフはゴーグルも着用

配布物(スイムキャップ・計測チップ)



配布物受取(アスリートラウンジ横)

アスリートラウンジ内のソーシャルディスタンス

コロナ対策

■受付/競技説明会

・感染予防の観点より前日受付の実施なし。
・ID、ヘルメット・バイク用ステッカー、ボディーナンバーシールは各選手に事前郵送。
・競技説明会はオンラインで実施。

■選手

・ボディーナンバーシールの事前配布を行い、選手自身で張り付けたシールをTOが目視での確認を実施。
・配布物はレースナンバー目視での確認後、選手自身で取ってもらい、感染対策を実施。
・配布物の陳列は机を3台利用し、間隔を開けながら受付時の密を回避した。

■TO

・マスク、フェイスシールドまたはゴーグル着用を徹底。
・配布物は選手自身が取り、配布物を扱う前後は手指消毒を実施とゴム手袋の着用を行い、他のものに触らない。
※当日配布のスイムキャップ/計測アンクルバンドを陳列。
・選手が上着を入れる袋を配布する。
・レジストレーション後にアスリートラウンジを利用する場合は15分以内とし定期的に換気、消毒をする。
・アスリートラウンジ内は約1m間隔で椅子を配置し、ソーシャルディスタンスを確保した。
・アスリートラウンジの定員は１張10名とした。
※合計男女４張ずつの８張用意。
・ユニフォーム・バイクチェックは目視で行う。
※サーキュレーターを用いてテント内の換気を常に実施。

記録写真【スイムエリア】

選手/TO　【スタート直前までマスクの常時着用／脱着する上着類を指定の袋に入れて保管】

選手備品用ビニール袋

蓋付きゴミ箱

ウォームアップ後マスク配布

選手整列

コール時マスク廃棄

ビニール袋にて選手備品保管

マスク・ゴーグル・ゴム手袋着用

ビニール袋回収

選手備品運搬

コロナ対策

スイムエリア：

■選手

・スイムウォームアップ終了後に各選手にマスクを配布しスタート直前までマスクの着用を実施。
・コール前の整列では選手全員がマスクの着用を継続し、事前に配布されたビニール袋(選手備品用)を持ち待機。
・選手名のコールとともに、指定の蓋付きゴミ箱に選手自身でマスクの廃棄を行い、スタートポジションに向かう。

■TO

・選手が着用したマスクを捨てるための蓋付きゴミ箱を用意。
・個別の番号付きビニール袋を用意し選手備品(スタート直前に脱いだ上着等)を各自でビニール袋に入れ、ポンツーンに用意しているボックスへ入れるように選手へ案内。
・スイムスタート終了後、TOが選手備品の入ったビニール袋をアスリートラウンジまで運搬。
・スイム担当のTOは選手に近い距離での作業となるためPCR検査の実施とマスク着用を徹底。

課題・改善策

■選手/TO

・洗えるマスクなど選手自身で着用してきたマスクは捨てられないため、アスリートラウンジにマスクを置き、ウォームアップする選手が多数いた。
→受付時に使い捨てマスクの配布を実施。

記録写真【トランジション・ホイルステーション】

選手/TO

T1レース間消毒

T1TOゴム手袋着用

T2TOゴム手袋着用

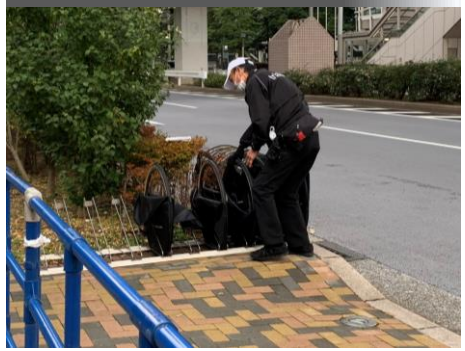
T2レース間消毒

T2選手シューズボックス

T2選手荷物回収

ホイルステーション(大江戸温泉前)

ホイルステーション(大江戸温泉前)



ホイルステーション(T2横)

コロナ対策

トランジション：

■選手

・ランシューズは各自でT2のボックスまで運搬し準備。

■TO

・TOはマスクとゴム手袋を着用し、女子と男子のレース間でトランジションの消毒を実施。
・選手物品やラック等を触る際は手指消毒を実施。
・競技用具回収時はゴム手袋着用。

ホイルステーション：

■TO

・ホイールラックは、事前に消毒を実施。
・TOは手指消毒を行い、ゴム手袋を着用。
・TOは物品管理のみ、選手の物には触らない。

課題・改善策

ホイルステーション：

■TO

・TOは、片手のみグローブをしていた。
→TOはタイヤに直接触れないように両手にゴム手袋をした方が良いかと感じる。
→ホイールを交換する際に、使用したホイールを触ると感染リスクがあるかもしれないので、可能であれば選手用に手指消毒用のアルコールを準備することも検討。
（タイムロスに繋がるため、実施は要検討）

記録写真【エイドステーション】

TO

設置

設置

配布

配布

消毒液設置

ゴミ回収

リタリングエリア（STARTサイン）

リタリングエリア（ENDサイン）

ボトル専用廃棄ボックス

コロナ対策

■設置/配布

・TOはフェイスシールドまたはゴーグル、ゴム手袋、マスクを着用。
・給水担当と回収担当を分けて実施。
・手指消毒を実施後にゴム手袋を着用し、着用後はペットボトル以外に触らない。
・選手との衝突やペットボトルに触れるリスクがあるためTOが配布を行う。

■ゴミ回収

・リタリングエリアを長めに設定しTOがボトルを直接拾わなくても良いように専用廃棄ボックスを設置。
・落ちているペットボトルはトングで拾う。

課題・改善策

■設置/配布

・ゴム手袋着用後にエイドステーションの準備を実施。
・給水、回収の担当が別でも、設置は全員で実施したためドリンクを触る人は区別が必要。
→設置と給水のタイミングでグローブの取り替えを検討。
→選手と距離が近く手が触れる可能性もあるため、都度、手指やテーブルの消毒を行う。

■ゴミ回収

・落ちているペットボトルには水が入っておりトングでの回収は難しかった。
・専用廃棄ボックスは選手への周知がされていないのか、ほぼTOが回収していた。
→ボトル専用廃棄ボックスのサイズを大きくする必要あり。

記録写真【バイク・ラン・ペナルティボックス】

TO

バイク消毒

モーターバイクマスク着用

ラン先導TOマスク着用

バイク(ライダー)マスク着用

リタイヤ選手マスク配布

リタイヤ選手マスク着用

マスク着用

ソーシャルディスタンス確保用養生

コロナ対策

バイク(ライダー)：
・ライダーヘルメットの形状に応じたマスク等の利用。
・バイク周回カット時には大声を出さずにカード、電子ホイッスルでの指示を徹底。
・使用した用具は共有しない。

ラン(ライダー)：
・基本はマスクを着用し、苦しくなったら各自で調整。

バイク/ラン(定点)：
・リタイア選手に接触時はグローブを着用し、その都度変える。
・TOはリタイア選手にマスクを配布し着用してもらう。
・各自消毒を携帯する。

ペナルティボックス：
・備品の使用前後は手指消毒と清拭を実施。
・ペナルティ対応時はボックス内にラインを引きソーシャルディスタンスが保てる位置で実施。

記録写真【フィニッシュエリア・リカバリーラウンジ】

選手/TO

【フィニッシュ　～　リカバリーラウンジ　～　アスリートラウンジ】

フィニッシュテープの使用なし

フィニッシュ時マスク配布①

フィニッシュ時マスク配布②

リカバリーテント内

サーキュレーターでのテント内換気

選手動線①

選手動線②

アスリートラウンジ案内

アスリートラウンジ（競技終了後）

コロナ対策

■選手

・フィニッシュ後、TOから選手にマスクの配布を行い、選手にマスクの着用を促す。
・リカバリーラウンジではTOから水分の配布等は行わずセルフサービス方式で実施。
・リカバリーラウンジテント内ではサーキュレーターを設置し、テント内の換気を行うとともに、選手間の距離を約1m確保し、椅子の設置をした。
・フィニッシュ後の選手はPCR未受診者との接触がないよう選手動線を通りアスリートラウンジへ戻る運用を実施。
※アスリートラウンジまで戻る選手動線は一方通行とした。

■TO

・マスク、ゴーグル、ゴム手袋の着用を行った。
・フィニッシュ後、選手同士が密にならないようTOがリカバリーラウンジまで誘導を行った。
・フィニッシュテープは持ち手側のスタッフが直接テープに触れることと、選手も複数名に触れることから使用しなかった。

課題・改善策

・フィニッシュ時にマスクを配布したが、リカバリーラウンジを出た後でマスクを着用する選手が多かった。
・フィニッシュ後の動線が不明確であったた。
→選手に事前の周知と現場での的確な案内が必要。

各担当業務の感染対策報告

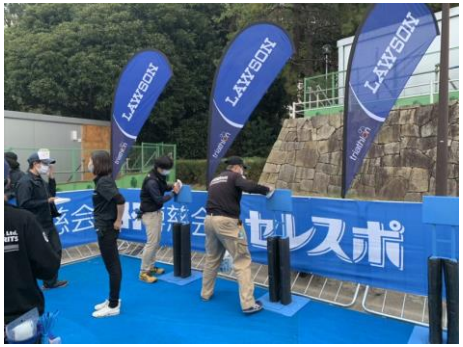
施工スタッフ

コロナ対策

・大会前日に各競技備品・各諸室・マリンハウス内備品等すべてを
アルコール消毒実施。

課題・改善策

・T1の関係者動線が狭く、密になってしまった。
→動線上、密にならないようコース設計の再考が必要。



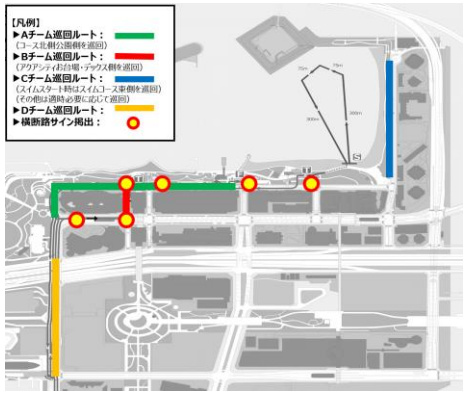
観戦自粛の告知

警備員巡回・潮風公園前

警備員巡回・台場海浜公園前

警備員の巡回・スイム前

図）コロナ対策警備員巡回ルート



録音トラメガ使用

電子ホイッスル使用

横断路掲出サイン

マスク・ゴーグル着用

コロナ対策

- 警備員による巡回警備を実施。
- 観戦自粛のお願いについて、事前に録音した注意喚起をアナウンスしながら台場海浜公園⇔潮風公園⇔湾岸署付近までを巡回。
- 観客や近隣住民に対し、看板やサイン、アナウンス等で観戦自粛の告知を実施。
- 交通警備員は電子ホイッスルを使用。

課題・改善策

- 観戦ポイントではソーシャルディスタンスが保てていない場面も見受けられ、警備員による呼びかけを随時行った。
- 観戦自粛の文言や看板のサイズが小さく、QRコードを掲載していたが、実際にサイトにアクセスした人がどのくらいいたのか、検証が必要。
- 横断路に置いてある看板についても、観客に対しての告知ではあるが、看板に気付かない、立ち止まって見ないなど、効果はあまり見られなかった。

→予め、混雑が予想されるポイントについては立ち入り禁止などのロープを張るなどの対策が必要。

→特に、コーチなどは声を出す姿が見受けられたので、感染対策の事前周知を行いつつコーチエリアの設定も検討。

→看板のサイズを大きくする等し、掲載している内容を目立たせる。

ライフセーバー

ライフセーバーテント

ボード

マスクの着用

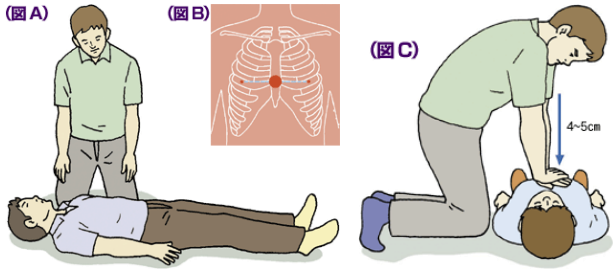
マスク着用、レスキューボード携帯

コロナ対策

・テントの横幕は外し換気を良くした。
・テント内の定員は10名とした。
・要救助者に対して海上での呼吸確認や吹込みは行わずボードやレスキューチューブで浜まで引っ張る運用とした。
※要救助者の処置は医師看護師で実施。
・海上では必ずマスク、ディスポーザブル、手袋、サングラスまたはゴーグルの着用を実施。
・選手から2m程度離れた位置から、見守る。

緊急時対応（医師・看護師の対応）
・心肺停止傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする。(図C参考)
・ハンカチやタオルがあれば、傷病者の鼻と口にかぶせる。(マスクや衣服でも代用可)
・人工呼吸は行わない。
・救命処置でハンカチやタオルを使用した場合は、直接触れることがないように廃棄する。
・救命処置終了後は石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。

図）一次救命処置方法



臨時救護所/緊急車両

救護所テント

テント内レイアウト

蓋つきゴミ箱の設置

傷病者対応

臨時救護所テント

テント内換気

緊急車両(青海)

緊急車両(青海)

■救護所内資材

1）ゴーグル

2）不織布マスク

3）ガウン

4）ゴム手袋

5）サーキュレーター

コロナ対策

■救護所

・テントの横幕を開き密を避けテント内にはサーキュレーターを設置し換気を実施。
・ベッドの間にはパーテーションを設置し目隠しおよび飛沫防止対策を実施。
・テントの一番奥のベッドは体調熱発者用とし、横幕を開け換気を実施。
・マスク等の処理のため蓋付きゴミ箱を設置。
・傷病者対応はゴーグル、マスク、ガウン、ゴム手袋を着用した上で実施。

■臨時救護所

・テント内の定員を10名とした。
・PCR未受診者の傷病者発生時のみ臨時救護所を使用。
・テント横幕を開け、室内換気を徹底。
※大会当日の利用はなし。

■緊急車両(湾岸警察署付近駐車場)

・常駐のドライバーはPCR検査を実施。
・車両の窓を開け、常に換気を行う。

記録写真【コーチ・一般観客対応】

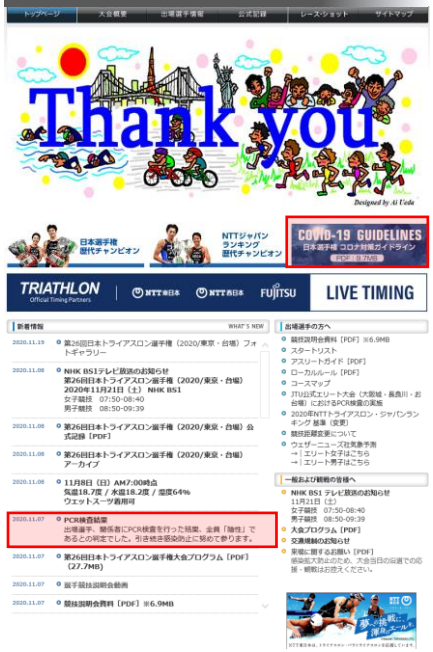
観戦自粛の告知

【広報関係】　　：感染対策広報箇所

広報スケジュール

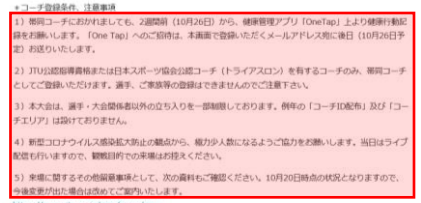
日程	内容
6月24日	■大会開催に関する方針 （新型コロナウイルスの収束を前提に組織委員会・各関係者 地域の皆様と調整）
8月7日	■11月お台場開催決定 （新型コロナウイルス感染拡大防止についてJTUの「国内向け運営ガイドライン」に準ずる方針にて大会開催の決定）
9月17日	■競技距離変更 （新型コロナウイルス感染拡大防止対策を最優先とし、競技実施時間の短縮のため競技距離の変更）
9月29日	■JTU公式エリート大会におけるPCR検査の実施 （選手、および選手と近距離で接触の可能性がある大会運営スタッフを対象）
10月20日	■来場に関するお願い （感染リスクを避けるため観戦目的での来場をお断り） ■出場定員数について （コロナウイルス感染拡大防止の観点から出場定員を男女各40名と定める） ■コーチ登録について （コロナウイルス感染拡大防止の観点から少人数での帯同と来場予定コーチの事前登録、健康行動記録のお願い）
10月25日	■観戦目的での来場自粛の告知(Instagram)
11月3日	■選手およびコーチに感染拡大防止への協力をご案内(Facebook)
11月4日	■新様式トライアスロン観戦スタイル(完全インターネットライブ中継)のご案内 ■日本選手権コロナ対策ガイドライン策定および新様式トライアスロン観戦スタイルのご案内(Twitter)
11月7日	■日本選手権コロナ対策ガイドライン掲載および観戦自粛のご案内(Facebook) ■観戦自粛のご案内(Twitter) ■出場選手・関係者PCR検査結果公表
11月8日	■感染対策を基本とした大会の運営方針について(Instagram) ■完全インターネットライブ中継での観戦のご案内(Instagram)

大会ホームページ



来場に関するお願い

コーチ登録について



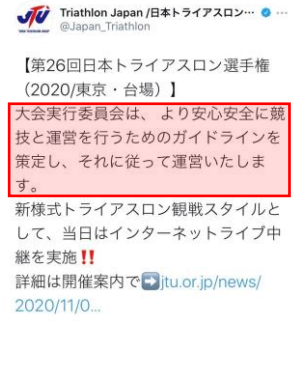
YouTube LIVE配信

【ライブ配信】第26回日本トライアスロン選手権（2020/東京・台場）｜26th Annual JAPAN TRIATHLON National Championships

Facebook

Instagram

Twitter



観戦自粛の告知

コロナ対策サイン

コーチ、監督、チーム関係者立入禁止ラミ

コロナ対策サイン看板(ピクトグラム)

YouTube配信

コロナ対策

■コーチ

・選手の同行者は大会側に事前登録するが、大会で占有している公園内の入場は不可とした。
・来場するコーチも2週間の体温・体調管理・行動チェックシートの提出(ONETAP)を実施。
・マスクの着用を必須とした。
・飛沫防止の観点より、競技中は沿道での応援、指示は実施しないよう事前周知。
・選手の道具は選手自身に持たせるようにし、コーチでは持たないよう周知。

■一般観客

コロナ対策サイン：
・選手および、大会関係者以外の公園内立ち入りを不可とした。

コロナ対策サイン看板(ピクトグラム)：
・一般観客向けに「感染しない、させない」ための行動指標をピクトグラムで表現し、各所に掲示。

YouTube配信：
・YouTubeにてライブ配信を行い、一般観客には観戦自粛および、YouTubeでの視聴を推奨した。(視聴回数：約28,000回再生※12/8時点)

課題・改善策

■コーチ

・競技中に沿道での応援、指示を出して行っていたコーチ、チーム関係者、一般観戦者がいた。
→コーチまたはチーム関係者向けの事前周知を念入りに行うとともに感染対策を講じたコーチエリアなどを予め用意しておくことも検討したい。
一般観客へは、事前広報を充実させるとともに、新しい観戦マナーを構築する必要性も感じた。

記録写真【SP/セレモニー対応・会場アナウンス】

スタートセレモニー/会場アナウンス

【女子：スタートセレモニー7時45分～、スタート8時00分／男子：スタートセレモニー9時15分～、スタート9時30分】

スタートセレモニー

選手整列

コール時マスク着用

MCブース内アクリル板設置

コロナ対策

■スタートセレモニー

・来賓の挨拶は行わない。
・TOの入場演出は行わず選手入場前に各ポジションに配置。
・選手入場演出は従来の通り実施。
・TOは1m以上間隔を空け、退場とした。
・選手はマスク着用の状態で間隔をあけて(最低1m)整列。
・コール時にマスクを選手自身で外し、蓋付きゴミ箱に捨ててからスタート位置に移動。
・オリンピックファンファーレの実施はなし。
・Heartbeat演出は従来通り実施。
・SPブースにおいて、MC(2名)の間にはアクリル板を設置し、飛沫感染を防止した。
・MCが使用するマイクは必ず一人につき1本とし使い回しはなし。
・感染防止に対するアナウンスを適宜実施。

■会場アナウンス

・観客や近隣住民に対し、看板やアナウンス等で観戦自粛の告知を実施。
→会場アナウンスにより、観客の声を出しての応援は控えめとなり、効果的であった。

課題・改善策

■スタートセレモニー

・全選手マスクの着用をて徹底し、整列はしたものの、選手間の間隔は1m確保できていなかった。
→整列の際、間隔を開けるような案内が必要であった。

TO選手入場前ポジション配置

PAによる告知(潮風公園前)

公道上のMCブース

公道上のMCブース

記録写真【メディア対応】

メディア説明会/前日記者会見

【メディア説明会：7日(土)13時00分～14時00分、WEB(ZOOMウェビナー形式)にて実施】
【前日記者会見：7日(土)14時00分～14時30分 WEB(ZOOMウェビナー形式)にて実施】

メディア説明会:記者会見ルーム入口
(台場区民センター1F)

メディア説明会:記者会見ルーム内
(台場区民センター1F)

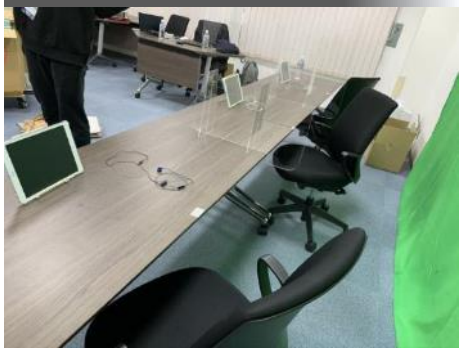
メディア説明会WEBキャプチャー

メディア説明会WEBキャプチャー

前日記者会見:記者会見ルーム入口
(台場区民センター1F)

前日記者会見:記者会見ルーム内
(台場区民センター1F)

記者会見ルーム内アクリル板設置



前日記者会見WEBキャプチャー

前日記者会見WEBキャプチャー

コロナ対策

■メディア説明会

・メディア説明会はオンラインにて実施。
→メディアは各所にてオンライン説明会を視聴。
→メディア説明会の模様をレコーディングし説明会終了後に各メディアへ配信。
・記者会見ルーム入口にアルコール消毒液を設置し、入室する際は各自アルコール消毒を実施。
・記者会見ルーム内のテーブル等の消毒を徹底。
・三密回避し、諸室内は少人数で利用。

■前日記者会見

・前日記者会見はオンラインにて実施。
※女子選手は各所より出演、男子選手は区民センター記者会見ルームより出演。
※メディアは各所よりオンライン記者会見に参加し、代表質問はMCが実施。
※記者会見の模様をJTU公式YouTubeに公開
・記者会見ルームに入室する際は各自アルコール消毒を徹底。
・記者会見前にテーブルの消毒を実施。
・会見中はマスクを着用せず、男子選手3名は並んで着席するテーブル上にアクリル板を設置し、飛沫対策を徹底。

記録写真【メディア対応】

当日受付 【8日(日)7時15分～7時45分、フィニッシュエリア報道控所にて実施】

報道控所

報道控所定員数

報道受付

報道受付アルコール消毒液設置

報道控所消毒備品

ビブス返却時ボックス設置(無人対応)

メディアADカード(オフィシャル・NHK)

メディアADカード(オフィシャル・東京新聞)

メディアADカード(一般メディア)

コロナ対策

- 各メディアはBゲート入口にて来場証明書を提示し、ADカードを受け取り後、検温・消毒を実施した上で入場。
- テント内定員は10名。
- ビブス返却BOXを設置し、無人で対応。
- 受付にて各メディアの2週間の健康行動チェックシートの確認。

→チェックシートの提出があったメディアにビブスを配布。

- 各社代表者1名による受付を実施。
- メディアの中でもIDコントロールを実施。

※各メディアは基本白ID
※メディア台で撮影するメディアはIDに赤シール貼付
※青ID:PCR検査陰性者
※黄色ID:FOPにて撮影

- 報道控所内に手指のアルコール消毒液および備品消毒液を用意。

→テーブル上にアルコール消毒液を設置し、各自消毒を徹底。

課題

- メディア用の作業場所の用意が無く、テント内のテーブルにメディアが密集することがあった。
- 受付で混雑が生じ、列が発生。

スイムエリア/トランジション1エリア

【スイムエリア左側に撮影エリアを設置、T1対面(海側)に撮影エリアを設置】

スイムスタート撮影メディア
(オフィシャルカメラ)

スイムスタート撮影メディア
(計測テント前)

スイムスタート撮影メディア
(計測テント前)

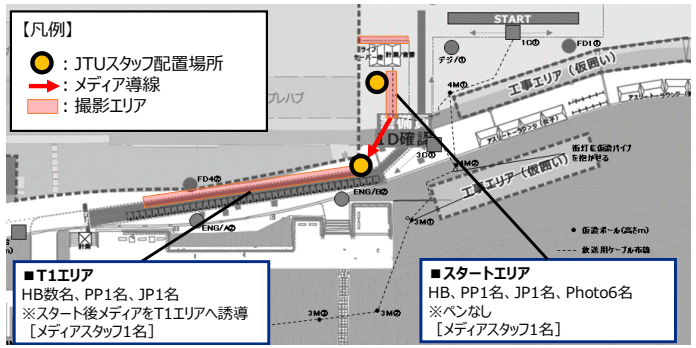
スイムスタート撮影メディア
(計測テント前)

スイムスタート撮影メディア(T1側)

T1撮影メディア

T1撮影メディア

図）スイムT1撮影エリア



コロナ対策

■スイムエリア

・アスリートエリアに入るメディアはPCR検査を実施。
・各メディアはソーシャルディスタンス確保し撮影を実施。
・撮影エリアを設置し、メディア同士や選手との間隔をとるようスタッフより呼びかけを行った。
・マスク着用の徹底。
・選手との距離を十分に保つ。

■トランジション1エリア

・メディア同士の密を回避するため撮影エリアを設置。
・各メディアはソーシャルディスタンスを確保し、撮影を実施。
・マスク着用の徹底。
・選手との距離を十分に保つ。

課題・改善策

■スイムエリア

・カメラマン同士の距離感が近く、ソーシャルディスタンスの確保が終始出来ていなかった。
※良いポジションでの撮影を狙うため、制限をかけられない状況であった。
・撮影エリアを超えて撮影する一部メディアがいた。
→場ミリや撮影エリアを広げることも検討。
→鉄柵を設置し、エリアを指定する必要あり。

■トランジション1エリア

・ T1出口付近に一部メディアが密集しており、ソーシャルディスタンスが確保できていなかった。
※良いポジションでの撮影を狙うため制限をかけられない状況であった。
→撮影エリア内に場ミリをすることを検討。

記録写真【メディア対応】

トランジション2エリア/公道エリア

【T2対面(公園側)に撮影エリアを設置】

T2撮影エリア

T2撮影エリア

T2撮影エリア

T2撮影メディア

T2撮影メディア

T2撮影メディア

公道撮影メディア

公道撮影メディア

コロナ対策

- 一般観客との密を回避するため撮影エリアを設置。
- マスク着用。
- 選手との距離を十分に保つ。
- コース上の立入禁止。
- 公道エリアはソーシャルディスタンスを意識し、三密を避けて撮影。

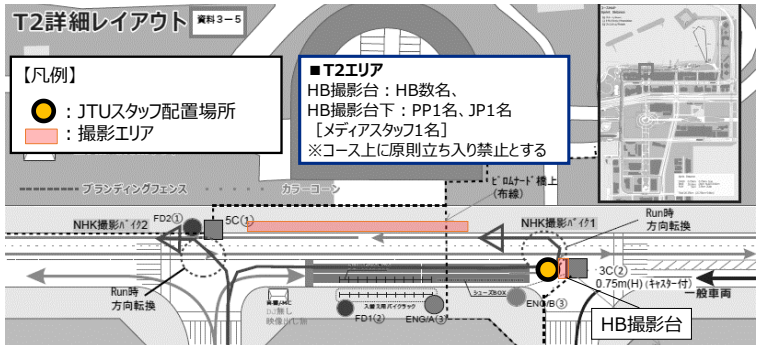
課題・改善策

- T2バイクラックの向かい側の歩道にメディア撮影エリアを設けたが、トランジションが見えにくく撮影がしづらかった。
- 路上に出ての撮影は禁止とされていたが2名ほど路上で撮影されている方がいた。

→観客とメディアが密集しないよう、T2撮影エリアの場所を要検討。

→各メディアへの事前周知を徹底。

図）T2撮影エリア



記録写真【メディア対応】

フラッシュインタビュー/レース後記者会見

【女子優勝者フラッシュインタビュー9時00分～／男子優勝者フラッシュインタビュー10時30分～】
【8日(日)11時30分~12時30分、ZOOM会議にて実施／男女1～3位の選手が区民センターより出演】

インタビューエリア

インタビューエリア

メディア台

メディア台
(ソーシャルディスタンス場ミリ)

レース後記者会見:記者会見ルーム内
(台場区民センター1F)

レース後記者会見WEBキャプチャー

メディアルーム入口サイン
(台場区民センター1F)

アルコール消毒液設置:メディアルーム入口
(台場区民センター1F)

メディアルーム内入室人数制限
(台場区民センター1F)

コロナ対策

■フラッシュインタビュー
・インタビュー(幹事社のみ)は15分以内で実施。
・インタビューの際は選手と1.5mの距離を保つ。
・マスク着用。
・インタビュー対象者へマイク(マイク風防)の変更や消毒を実施。
・メディア台は選定メディアのみの撮影とし、三密を回避。
・メディア台にソーシャルディスタンスのための場ミリを付け、各メディアは間隔を保ち撮影。

■レース後記者会見
・レース後記者会見はオンラインにて実施。
※メディアは各所よりオンライン記者会見に参加し、代表質問(幹事社)および一般質問を実施。
※記者会見の模様を会見終了後に各メディアへ配信。
・記者会見ルームに入室する際は各自手指消毒を徹底。
・記者会見前にテーブルの消毒を実施。
・選手3名が着席するテーブル上の間にアクリル板を設置。
・メディアルーム入口にアルコール消毒液を設置。
・メディアルームの利用は三密回避の観点よりペン記者を優先とし、入室人数の制限(定員18名→9名)を実施。

課題・改善策

■フラッシュインタビュー
・フラッシュインタビューでは選手と記者の距離は保たれていたが、記者同士が密になってしまった。
・フラッシュインタビューの際、HB、PP以外の一般メディアがインタビューエリアに近づき撮影していた。
→厳格に密を避けるのであれば、取材エリアに入れるIDも作成し、制限をかける必要あり。
→ソーシャルディスタンスの確保において報道控所からインタビューエリア側に一般メディア立入禁止の柵の設置を検討。

■レース後記者会見
・当日記者会見はZOOMでの実施となったが、通信状況が悪く、選手側のミュートが出来ず、会見が10分程遅れた。
・会見中も音声と映像が途切れる場面が多かった。
→オンライン上の通信環境の整備を検討。
→記者会見ルーム内で選手同士の間隔は保てていたが、インタビュー待機時の選手控室を設けることも検討。

ホストブロードキャスト 【レース後フラッシュインタビュー、NHK中継車感染防止対策状況】

フェイスシールド・マスク着用
（インタビュー:フラッシュ、番組インタビュー時）

中継車両前アルコール消毒液設置

中継車両換気用空調装置設置

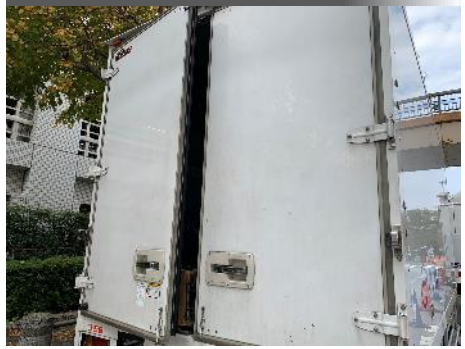
中継車両内換気

中継車両換気

中継車両換気

中継車両換気

中継車両換気



中継車内飛沫防止シート設置

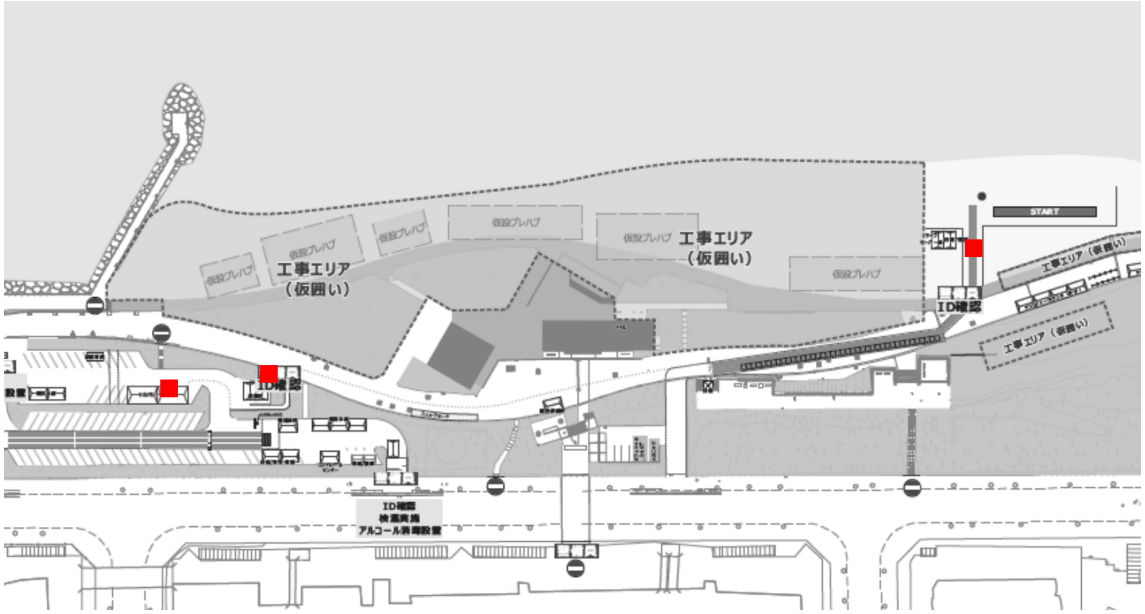
コロナ対策

- 公園内ではなるべくスタッフを固定しアスリートエリアに入るカメラマンとスタッフはPCR検査を実施。
- インタビュアーは飛沫感染防止のためフェイスシールドとマスクを着用。
- 中継車前にアルコール消毒液を設置し、中継車出入りの際の消毒を徹底。
- 中継車に空調装置を設置し、車内の換気を徹底。
- 中継車内に飛沫防止シートを設置し、飛沫感染防止を徹底。

記録写真【ゴミの廃棄方法】

蓋付きゴミ箱の設置

【スイム、救護所、リカバリーラウンジに蓋付きゴミ箱の設置】



コロナ対策

・衛生用品（ティッシュ、マスク、タオル等）が廃棄される個所を想定し、スイムエリア、救護所、リカバリーラウンジに蓋付きゴミ箱の設置を行った。

課題・改善策

・救護所、リカバリーラウンジのごみ箱は蓋付きであるものの写真の蓋付きゴミ箱では廃棄時、ふたの部分に手を触れる可能性があった。
→スイムエリア設置したようなゴミ箱を設置し、ごみの廃棄時に蓋に手が触れない仕様のものが好ましい。
もしくは、廃棄時は必ずゴム手袋を使用して手指消毒を適宜行い、廃棄できれば良い感じる。

スイム設置

救護テント設置

リカバリーエリア設置

その他 【お台場海浜公園前歩道】

会場内目隠し

会場内目隠し

コロナ対策

・一般の方がお台場海浜公園側の歩道、デックス2階の踊り場からフィニッシュエリアが見えてしまい、密になることが想定されたため、柵と目隠し幕を用いて、フィニッシュエリアを目隠しした。

課題・改善策

・目隠し幕を設置することで一般の方がフィニッシュエリアの観戦目的で常時、密集することは避けられたが、目隠し幕を背景とし、写真撮影をする観客がおり、歩道上が一時的に密となった。
・歩道から会場内を幕の上から写真撮影する観客がいた。
→会場外において、密にならないような対策を検討。

会場内目隠し幕

会場内目隠し(フィニッシュエリア付近歩道)

会場内目隠し前(デックス2階デッキより撮影)

コロナ対策全般

・今大会はリアルタイムライブ配信を行い、3万弱の視聴を記録した。これまでの配信コンテンツと比較しても高い視聴数となったが、大会開催前での複数回の事前告知(SNS等)の実施による認知向上が寄与すると考えられる。会場での声援は選手にとって大きな励みに繋がるが、映像配信は良く広範なファンへ訴求できるツールとして、今後の更なる発展を検討していく必要がある。

・園内におけるコロナ対策は、選手サポートを行うコーチや関係者、ならびに一般応援者の立入を禁止としたことで、ほぼ計画通りに運営が行われ、感染リスクも非常に低かったと感じた。しかし、競技終了後はアスリートラウンジで選手同士が談笑するなど気が緩む時間があったため、公園の利用時間を制限するなど、選手の意識改革や行動変容も含め今後の大会で活かしていければと感じた。

・公道におけるコロナ対策は警備員の巡回とMCブースでのアナウンスによって、マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保ならびに声を出しての応援を控えていただくよう呼びかけを行うなど感染対策を徹底した。適宜密集している箇所への呼びかけ等を行った。呼びかけには応じてもらえたが、暫くするとまた密集する状況となるので、対策および意識付けの対応が必要だと感じた。また、トランジション２は、バイクとランが両方観戦することができるポイントであり、度々、密集が出来ていた。11/7(土)のお台場周辺の混み具合からも、沿道観客のほとんどは、選手関係者や家族と想定できるため、選手だけではなく来場が想定される方々への事前周知も念入りに行う必要があると感じた。

・新型コロナウィルス感染防止対策を行った本来の目的である感染者を出さない、クラスターを起こさないという観点では、大会終了後の感染報告もなく今大会は成功したのではないかと考える。選手からの評判も良い大会となったと感じる。(下記、ネットニュース掲載記事)
https://www.nikkansports.com/olympic/tokyo2020/triathlon/news/202011080000769.html

メディア対応

・感染防止の観点より、記者説明会、記者会見ともにオンラインでの実施となったが、大きなトラブルもなく会見の進行が出来た。
レース後記者会見については音声や映像が途切れることもあったため、オンライン環境の整備が必要だと考える。

・公道エリアは一般観客やチーム関係者で混み合っていたため、記者や観客の密が見受けられたが、巡回警備員の呼びかけにより記者と観客の密を回避することができた。
また、トランジション2付近については記者専用エリアを設け、ソーシャルディスタンスを確保することが必要だと考える。

・会場内では記者と大会関係者同士の密が見受けられたが、2週間の健康チェックを行っているため『健康は保たれている』を前提として、どこまでを『良し』とするかの判断が計画を運用していく上で重要だと考える。